

Style 04 Jacket & Slacks

〔ジャケット & スラックス〕

こちらスタイル3と同様、最近非常に増えているスタイルです。ジャケットとスラックス上下バラバラでインナーにTシャツ・シャツ・シャツ&ネクタイでも何でもいけるという組み合わせが無量大で自由度が高いのが特徴です。さらに言うと上下のサイズ感・シルエット・色・素材感などのバランスを合わせていく必要がありますので難易度がもっとも高いスタイルといえます。参考にしてほしいのは堺正章さんのスタイリング、上記のバランスがすべてカンペキでとんでもなく粋な装いなのですが、有名なスタイリストのかたがすべて監修してこそその完成度なのですぐにマネできるものではありません。ジャケットスタイルを取り入れる時はまず

相談してもらいたいのですが、なによりも大事なのがサイズ感。生地に特徴があるので大きなサイズだとどうしても野暮ったく見えてしまうのです。ですので、ジャケットスタイルにするときにはスーツのサイズよりもすこしコンパクトで仕上げるようにしましょう！



Style 03 Set Up

〔セットアップ〕



ここ最近非常に多いスタイル、上下お揃いの生地で仕立てるのでキチンと見える上にスーツの堅さもなく着やすさもあるので取り入れるかたが急増しています。スタイル2のスーツと違うのが「素材感」。凹凸などの生地表情や柄だけではなくストレッチ・デニム・コットン生地といった今までのスーツではあまり使われなかった生地もいろいろとあります。またインナーにはTシャツやニットをあわせ、ノーネクタイを基本にしているのも特徴です。ただ、注意すべくは「同質化」ここ最近多いスタイルなので紺系のセットアップに白いTシャツのかたが急増し、みんな同じに見えてしまうのです… ブランディングを大切にしている経営者には正直オススメできません。経営者がセットアップを選ぶうえでのポイントは必ず「素材感」です。ペラペラの生地は非常に安っぽくみえてしまうので避けましょう、同じ紺系のセットアップでも素材感が変われば印象はまるで変わりますので迷われたらすぐ私に相談してください！

Style 05 Formal

〔フォーマル〕

フォーマルウェアを着る唯一無二の理由は“正しい装いをして周囲の人々に不快感を与えない。失礼な装いで正式な会合や式典に臨まない”と言う為で、決して自分のお洒落の為ではありません。フォーマルウェアはその格式において3段階（第一礼装・準礼装・略礼装）に分かれます。

- 第一礼装 | (昼夜問わず)燕尾服
- 準礼装 | 昼間(18時まで)→モーニング／夜間(18時以降)→タキシード
- 略礼装 | 昼間(18時まで)→ディレクターズスーツ／昼夜問わず→ダークスーツ

ヨーロッパでは行事が行われる時間(昼と夜)や儀式的格、会場、行事内容により装いに明確な区別が存在します。日本では燕尾服を着る機会はまずありません。この燕尾服の略式がタキシード。モーニングの略式がディレクターズスーツです。2029年イルサルト20周年記念パーティのドレスコードはブラックタイ着用。20時スタートなのでタキシードでぜひお越しくださいね！



イルサルトでお仕立て可能な その他のアイテム

「経営者としての装い」に困られましたらいつでもご連絡くださいね！
こんな時代だからこそ経営理念を身に纏い、自分らしく輝いていきましょう！

